

# キャリア教育新聞

No.2

2025年3月  
発行

共創共学  
プラットフォーム  
(塩尻市教育委員会委託事業)

## 塩尻西部中学校の三年生が より良い塩尻市の未来を考える

塩尻西部中学校三年生は総合的な学習の時間で「ふるさと学」CFO（未来最高責任者）と称し、理想の塩尻市について考える学習をしている。それぞれの分野（子育て・教育、観光、福祉、まちづくりなど）に分かれて、塩尻市総合計画を読み解き、市の様々な課題に対して中学生の独自の視点や発想で提言を考える。今年度は中間発表を設け、市役所の担当者を学校に招き、発表に対してフィードバックをもらった。令和六年十一月一日には、「コムスクフェス2024」で最終的な考察を後輩や保護者、地域の方々、市長や教育長などに提案した。

## 未来をつくるのは自分たち 学校での学びを社会と繋げる

中間発表には塩尻市役所から各分野の担当者計八名が参加した。産業の分野を担当した商工課の池田さんは次のように感想を述べた。「何気なく暮らしている地域に知らないことが溢れていると生徒が気づいたことに感心した。生徒が今後の生活で生じる『なぜ？なに？』どうして？』といった疑問を解消するために今回の授業の経験が活かされればと思う。また、自身もこの授業をきっかけに子どもたちに『また塩尻のことを調べたい。調べたら塩尻は希望のもてる街だ。』と思ってもらえるように、市役所職員として市民の疑問や生の声に耳を傾けるよう努力したい。」

塩尻市ではこども家庭庁が掲げる「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行っている。市役所職員が授業に参画することで、こどもの意見を聴くという市が進めることもまんなかアクションに繋がっている。



生徒の提言  
の一例

有名な特産物であるぶどうやレタスだけではなく、そばサラダやロールおはぎなどのあまり知られていない伝統料理に焦点を当て、PRしていくという方法が良いと思います！



生徒の提言  
の一例

高齢者も住みやすいまちにするには、移動料金を無償化するなど市役所が担うことと中学生にでもできることは中学生が行っていくことが必要であると考えます！



塩尻西部  
中学校  
三学年  
中野先生

今年は生徒の提言が具体的でより深いものになるよう、中間発表を設定しました。市役所の担当者から直接フィードバックをもらうことで、新たな視点を得て、再考するグループが多く見られました。

## 日本商工会議所で事例発表を実施！

「キャリア教育×地域共創 未来と地域定着につなげる新たな地域愛醸成のアプローチ」と題し、日本商工会議所合同委員会にて事例発表をしました。子どもたちが自ら考え、自ら行動して結果を出す、一連の活動をサポートする点が評価されたのだと思います。キャリア教育を通じて、地域愛と自己理解を育み、地域と次世代をつないでいけたらと思います。「人の力」の充実・強化に寄与し、未来の社会を担う若者たちの成長を後押しする「地域の力」向上の一助となる活動を引き続き行っていきます。



塩尻商工会議所  
谷田部 和良

販路開拓など幅広い支援をしています。事業者の立場で共に悩み考え、「谷田部に言えば」と信頼される存在を目指し、日々全力で取り組んでいます。事業者の人材確保という文脈でキャリア教育に力を入れるようになり、手探りですがサポートさせていただいている中で、「若者の地域愛を育てること」という大義が見えてきた気がしています。

塩尻商工会議所中  
小企業相談所経営  
指導員の谷田部和良  
です。小規模事業者  
に寄り添い、事業者  
のお金周りの相談、  
創業支援、補助金、

共創共学プラットフォームメンバー紹介

◆お問い合わせ

共創共学プラットフォーム事務局（NPO法人MEGURU）  
塩尻市教育委員会事務局学校教育課（0263-52-0280）